ガス設備は信頼できる
ホタカ製品で……
株式会社ホタカ
〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明10515
TEL(穂高)0263(83)4100代表 FAX0263(83)4666

プロパン・ブタンニュース
©石油化学新聞社2011年 (昭和30年6月8日第3種郵便物認可) 週刊・毎月曜日発行
購読料／年間32,760円(本体31,200円)・6カ月16,380円(本体15,600円)
2920号 3月21日(月)
発行所 石油化学新聞社
本 社：東京都千代田区岩本町2丁目4番10号
電話03(5833)8840 FAX03(5833)8841
URL：http://www.sekiyukagaku.co.jp
E-mail：lpg@sekiyukagaku.co.jp
振替東京00180-6-37963
支社・局：札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡
2011年（平成23年）

NIPPO
暮らしのガス機器
ニッポー
(株)日豊
和光 048-465-2811
小金井 042-385-1591

復旧・復興！〝業界の足音〟力強く

東日本大震災

安定供給・保安確保へ

在仙34人が「緊急対策会議」

11日午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9・0の世界最大級の大地震（宮城県北部で震度7を記録）が発生し、東北から関東までの広い範囲の太平洋岸に壊滅的被害をもたらした。地震発生後に運転停止した福島原発の相次ぐ爆発・火災事故で東北電力、東京電力管内の電力供給が危機的状態にあり、被災地以外の地域にも停電災害として伝播、産業活動と平穏な暮らしが奪われている状況だ。本紙が関係機関・企業から得たLPガス関連情報をまとめると、18日現在、地震によって出荷停止中の輸入基地、製油所、2次基地があり、自動車燃料の不足と交通網の麻痺が追い討ちをかけて、被災地やそれ以外の地域への出荷支障が起こっている。充填所や販売事業所の被害は通信網の麻痺によって全貌がつかめないものの、大津波を受けた三陸地方で極めて甚大のようだ。人命救助が今なお続けられるなか本日、地震発生から10日目を迎える。応急仮設住宅が近く着工の見通しで、カセットこんろなどの救援物資に続き、LPガスのタンクローリーは鹿島や東京湾岸、青森、新潟の近県の基地から全力を挙げて被災地に向かっている。復旧・復興の足音は日に日に力強くなっていく。

宮城県LPガス協会の小埜寺宏会長の呼び掛けに応じ行政、元売、販売事業者、機器メーカー、事会館に集まり、大震災保安センターなどの34人への対応についての緊急対策会議を行った。

しかし、想像をはるかに超える被害であることが18日、仙台市の県管工から、どこから手を付ければいいのか分からない状況だ。同業の仲間の安否確認を進めながら、目の前の課題一つひとつに対処していくことになりそうだ。

この日は、SSでLPガス業界の車輌に優先的に給油するよう石油商業組合に要請することや、津波に流された容器の回収を始めることなどを決めた。5日後の23日に2回目の会議を開く。交通事情が悪いため、出席できそうな仙台地区の各社に呼び掛けた。

関東東北産業保安監督部と県、仙台市消防局の行政から4人、県LPガス協会支部長会社から3人、広域・地場の卸売事業者11人、元売と機器メーカーから12人、県LPガス保安センターと県LPガス協会から3人、高圧ガス保安協会東北支部から1人が出席した。

横浜市の東京ガスＬＰＧターミナル根岸出荷センターで充填を待つローリー（18日未明）。11日震度５を記録した際には一時出荷を停止したが、設備を確認した40分後に再開した。地震の影響で「北から流れてくるローリーもある」という

車両用燃料なく動けず

8キロ以上容器 屋内使用許可を

出席者から、被害状況や地震発生時からこの日までの対応などを報告してもらい、それをもとにしてこれから取り組むべきこと、それを進めるうえでの課題などについて話し合った。

この中で、SSでの給油が緊急車両などに限定されているため車両用の燃料が足りず「点検したくても、ガスを届けたくても、車を走らせる燃料が不足して動けない」と嘆く出席者が圧倒的に多かった。

「〝災害に強いLPガス〟の信条を裏切らないためには、安定供給と2次災害の防止に最大限努めなければならない。それには何としてもフットワークの軽さを取り戻さなければ」（小野寺会長）とし、LPガス業界の車両に優先的に給油するよう石油商業組合に働きかけることを決めた。

津波被害で浜辺に打ち上げられたり、がれきに埋もれた容器をどう回収するかも課題に挙がった。

これについては、そうした容器がどれだけの本数、どの地域にあるのか不確かなため、卸売事業者が中心になって、どこが所有する容器かに関わらず、各事業所の周辺から回収作業を進めることを決めた。作業をして、課題があれば次回の会議で再度検討することにした。

事業者側から行政に要望が出た。電気や都市ガスの復旧していない地域の施設、避難所などで、暖房や厨房用燃料としてLPガスを使用する場合のことを考え、8キロ以上の容器の屋内使用を特別に許可してほしいという。行政側は「持ち帰って検討する」と応じた。

このほか、食料や燃料が不足している状況から、LPガスも足りなくなるのではないかと不安を持つ消費者が出ているとし、不安解消を課題に挙げる声もあった。

仙台市宮城野区の避難所、宮城野区高砂中学校。固定電話で連絡する姿が目立つ（18日午前）

本号は「東日本大震災」の発生に伴い、特別編集（8頁）として発行します。1～5面を報道特集とし、6面「東日本版」（総合・北海道・東北・首都圏・中部）、7面「西日本版」（近畿・四国・中国・九州・住設）のニュースを収録しました。8面は「企業特集」です。

石油化学新聞社は11日に発生した地震発生直後から、本社LPG局に成富治社長を本部長に「大震災報道本部」を設置。「プロパン・ブタンニュース」「日刊プロパン・ブタン情報」の震災報道を本格化しています。

気象庁は「東北地方太平洋沖地震」と命名していますが、本紙は共同通信、朝日新聞などと同様に「東日本大震災」としました。新聞が遅配となっている地域があるほか、一部地域では定日配送が困難な状況となっています。対応の一環として新聞データをPDFファイルで公開します。

石油化学新聞社は、全社挙げて甚大被害、非常事態の報道態勢をとりながら、「ともに生きる業界の姿」をクローズアップします。LPガス業界は被災地の皆さまとともに歩きます。

「ライフライン確保に全力」。地震発生から１週間、34人が緊急対策会議に出席した（18日、仙台市青葉区の宮城県管工事会館）

「東日本大震災」の被災地の皆さまへ

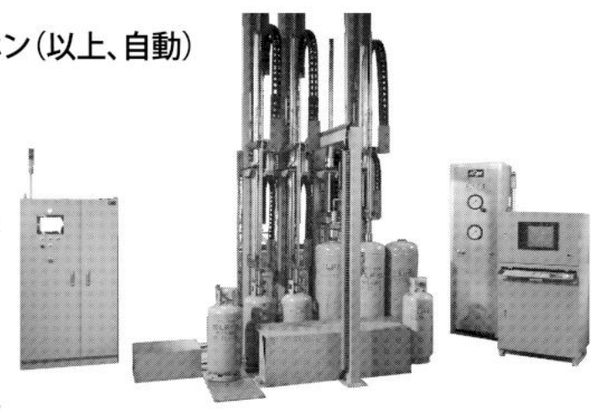
心からお見舞い申し上げます

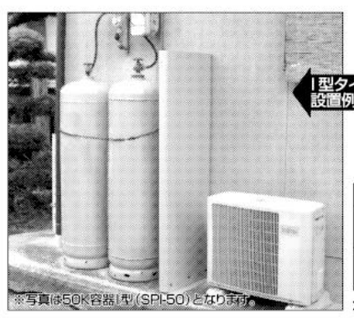
石油化学新聞社 プロパン・ブタンニュース

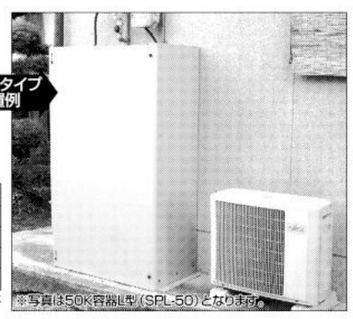
精溜塔

「盤石のたのめるかづき川島（かわがらす）」、三好達治が川島を詠んだ俳句である。この一句を見つけるのに苦労した。わが社が毎年刊行しているカレンダーに「とりごよみ」というのがある。今、その来年版を製作中である。表紙は、オオハクチョウが越冬のために白い羽を広げて日本に飛来する姿の写真である。この表紙も月ごとに配す野鳥の写真も野鳥写真家・高田哲良さんの撮影である▼月々の野鳥に俳句を添える趣向が喜ばれ、その選句は筆者が担当している。八月の挿絵の野鳥は川島である。この鳥は雀ほどの大きさで滝の裏側などの岩陰に苔で巣を作る。水中に潜り川底の虫を食べる。手許の歳時記や句集に川島の句を探すが、見当たらない▼八重洲ブックセンターの歳時記売り場で立ち読みに如くはないと、幾度かブックセンター通いをしたが、見つからない。一時間の余も立ち読みをしていると腰が痛くなるし、店番の店員にも気がねである▼それでも諦めきれずに見残した季語辞典があったのでこれが最後と、ブックセンターに行った。かくて季語用例辞典に三好達治の「盤石の」の句を見つけたのである。その場でメモをとるのも如何かと思い、しっかり記憶して店員に「有難う」と会釈したら怪訝（けげん）な面持ちで見返された▼コーヒー店で一服していたら福島第一原発の3号炉に自衛隊のヘリコプターが空から散水している様がテレビに映し出された。そして福島県下の市民の「エクソダス」のニュースを聞くにつけ福島原発の就役は「磐石のためのめる」ではなかったのではないか。そう思うと冒頭に掲げた三好達治の川島の句が一層光ってくる気がした。俳句の「かづき」は水中にくぐり入る意である。

「盤石のたのめるかづき」

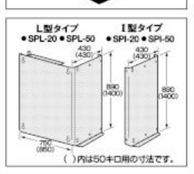
ピットレス非水槽式 自動耐圧試験・乾燥装置 特許出願中
【対象容器】
5～50kg、60kg、シームレスアルミ、サイホン（以上、自動）
フォークリフト用、ミニ
●ピットレス型で、工事費抑制、工事期間短縮
●ステンレス製コンベア 長期間使用で腐食しない
●容器サイズを検知し、注水・乾燥時間を自動設定
●タッチパネルで 制御条件を変更、状態確認
●手前側開放のため、メンテナンスが容易
●充填データ、マーキング機対応

FLOWM 株式会社フローム
本 社 〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通4-7-8 TEL.06-6783-2102 FAX.06-6789-7022
関 東 〒345-0033 埼玉県北葛飾郡杉戸町佐左ヱ門734 TEL.0480-36-5556 FAX.0480-36-5557

火気との隔壁板
セーフティーパネル
液化石油ガス法第18条対応商品
手間のかかるブロック積み・配管移動を解消
傾斜のあるところでもスッキリ取付
ボンベ交換ラクラク前面カバーが簡単に着脱
サビに強い粉体塗装仕上げ
便利な左右兼用タイプ
ボンベの保護と美観に配慮
従来火気をさえぎる措置として、ブロック積みや配管移設等大変な作業が必要でしたが、セーフティーパネルを使用することによって施工性が高くなり、確かな安全が確保されます。

I型タイプ設置例
※写真は50K容器I型(SPI-50)となります。

設置前
L型タイプ設置例

※写真は50K容器L型(SPL-50)となります。

	型 式	標準価格	梱包単位
20K容器(20K×2本用)	SPI-20	¥10,800	2
	SPL-20	¥20,800	2
50K容器(50K×2本用)	SPI-50	¥15,800	2
	SPL-50	¥29,800	1

コンプライアンスの徹底 企業の存続の大前提は法令順守です。



■お問い合わせ・代理店 (株)桂精機製作所・伊藤工機(株) 製造元 新しい常識を創造する 株式会社ホームハイテック TEL.072-931-4747 FAX.072-931-4748